

令和2年度前期終業式辞 ～ 101%

皆さん、お早うございます。暑かった夏もようやく終わり、一雨ごとに秋の訪れを感じるようになりました。明日から秋休みに入ります。前期を振り返ってみると、新型コロナウイルスの影響で、5月末までは臨時休校でした。学校再開後も様々な制限の中、行事も中止になったりしました。

そんな中でも、9月16日には体育祭を実施することができました。皆さんの一生懸命な姿や楽しそうな表情を見ることができて、本当にやって良かったと思えました。これからもできるだけ、学校行事を実施していきたいと思えます。季節はこうして春夏秋冬が繰り返されますが、私たち自身は同じことを繰り返しているわけではありません。季節が一回りするたびに、同じ位置に戻るのではなく、らせん状に成長していかななくてはなりません。今日は、「101%」という話をします。

早速ですが、私たちは日常生活の中でよく「頑張っ！」と声をかけられたり、何か決意をする際に「頑張ります！」と答えたりします。しかし、この「頑張る」とはどうすることか具体的に分かっていないままに言っていることはありませんか？ここで皆さんにお伝えしたいことは、何に頑張るかは人によって、また時によってちがってよいと思えますが、頑張るとはどうすることかという具体的な行動を意識してもらいたい、ということです。それは、行動を変えるには、行動を起こす意味と内容を明確にしておかないと、せっかくの決意も「蒸発」してしまうようになるからです。

例えば、100mを走る場合に、全力で100mを走る、つまり、「やるべきことをやる」ということは、頑張っているといえると思えます。北高生には、そのワンランク上の意識をもってもらいたい。あらゆるものが変化・成長する中では、現状維持は、周りが成長している分だけ実際は後退していることになる場合があるからです。100mを走るなら、101mのところをゴールを設定し全力疾走する。そのプラス1m分が頑張っていること、というふうに考えていくようにしてもらいたい。「頑張るとは、現状維持を続けるだけでなく、プラスアルファ分を積み上げること」、そういう意識で、日々、自分の可能性を少しずつ、しかし確実に大きくしていってもらいたいと思えます。

ところで、前の日よりも「1%」、つまり1.01倍頑張ることを続けるとどうなるか、数字で考えてみましょう。1日目は、 1×1.01 で1.01（101%）、2日目は 1.01×1.01 で1.02（102%）に。これを続けると1か月後には1.01の30乗で1.35（135%）になります。

それでは200%になるのはいつか？70日目です。足し算では100日かかりますが、掛け算で「前日の101%」を継続すると、元々の自分を早く膨らませていくことができます。1%を足し算でいくか、それとも掛け算で積み上げていくかは、その人の意識の高さによることになります。たとえ1%でも掛け算で常に前日よりも1%を積み上げていくことは、大変なことと思うかもしれませんが、しかし、高校時代とは、心も体もあらゆる能力が飛躍的に成長する時期です。「未来の自分」の可能性を広げておくために、「今の自分」にしっかり頑張らせておいてもらいたいと思えます。

最後に、今日は1年の節目となる時期にあたり、改めて立ち止まり、毎日ほんの少しだけ自分を積みあげていくことにトライしてみることをお願いしました。後期に向けて、現状維持ではなく常に「101%」の心構えを期待します。「継続は、力なり」です。

今日、前期終業式。試合終了を告げる笛は、同時に次の試合に向けた練習の始まりの合図でもあります。この秋休み、後期に向けて自分は何を毎日1%頑張るのか、明確にしておきましょう。